

第2回横浜市南スポーツセンター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和3年8月26日(木) 13時00分～16時00分
開催場所	南区役所703会議室
出席者	伊藤委員長、徳富委員(委員長職務代理者)、根本委員、村上委員、山崎委員 事務局4名
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	1 横浜市南スポーツセンターの指定管理者選定について
決定事項	指定候補者を「みなみスポーツ共創パートナーズ」、 次点候補者を「公益財団法人横浜市スポーツ協会」と決定。
議 事	<p>1 選定委員会の進め方について 提案団体の提案説明及び質疑応答と審議の非公開を確認。</p> <p>2 応募団体について 応募団体が暴力団または暴力団経営支配法人制下にも該当しない団体でないこと、市税の納付状況について滞納がないことを報告。</p> <p>3 審査について 提案説明後、質疑をおこなうことを事務局から説明。</p> <p>4 提案団体の提案説明及び質疑応答 (1) 質疑応答【団体A】</p> <p>委員) キャンセルが出た場合の空き教室の対策はどうか。 団体) 常日頃から電話にて予約確認できる体制を整えている。</p> <p>委員) ネットで運動コンテンツを配信するとあるが、高齢化が進んでいる南区において、インターネットの扱いに慣れていない高齢者のためにどう工夫していくのか。 団体) ケアプラザ等の身近に高齢者の方と接している施設と連携し、運動コンテンツを提供できればと考えている。</p> <p>委員) 運営方法は、現在の施設と同様の形で継承されるのか。 団体) 利用者に不便をかけないよう現行の運営方法を継承する。</p> <p>委員) 料金体系について、現状から変更があるのか。 団体) 利用料金については市スポーツ施設条例を基に設定している。多くの利用者に良質のコンテンツを利用していただくために、手の届きやすい料金設定を心がけて運営していきたい。</p> <p>委員) マシンのリニューアルについては部分的なのか、全部なのか。 団体) 女性や高齢者でも簡単に利用できるような有酸素系のマシンを中心</p>

に変更する予定。

委員) マシンはリースで導入するのか。

団体) リースで対応予定。

委員) 団体のアピールポイントを教えてほしい

団体) 1 点目はヘルスプロモーション事業。地域の医療機関と連携し健康づくりに寄与する。

2 点目はスポーツセンターにとどまらず、区内のあらゆる人にスポーツを取り組んでいけるよう地域に事業を展開する。

委員) レンタル料金は自主事業か。

団体) 自主事業で実施している。

委員) 提案の内容を子供たちや高齢者が生かせるのか。

団体) 新しい生活様式に寄り添ったものは拡大していくべき市場であると思っているので、機器の使い方講座等を行っていききたい。

委員) スポーツ用品のリユースはどのように実施していくのか。

団体) リユースできるものを集め、できるものを選別し、施設内で掲示している。

## (2) 質疑応答【団体B】

委員) 調整会議は年1回でよいのか。

団体) 調整会議は市の仕様に則って、年1回の実施予定。

委員) マシンを全部変える必要はあるのか。

団体) 施設の老朽化も進んでいるので、施設の印象を刷新することを目的としている。

委員) 営業時間を延長するとのことだが、近隣住民とのコンセンサスをとれるよう努めてほしい。

団体) 営業時間の延長は10月からの開始を見込んでいる。反対の声があることは承知しているので、10月までの半年間近隣住民とのコミュニケーションをとりながら、試行錯誤を繰り返し進めていきたい。

委員) 安全な施設運営はできるのか。

団体) スポーツセンターと類似する施設と同様の体制を想定しており、地元の職員を配置する等で、安全な施設運営ができると想定している。

委員) 提案書を見ると、スタッフ1人が1日中に勤務するよう見受けられるがどうか。

団体) 同じ人が一日中勤務するわけではない。

委員) ウェルカムチケットは、区役所の業務を増やすことになるがどうか。

団体) ウェルカムチケットは他団体でも好評をいただいている。もちろん区との調整も必要になると思うが、区役所で転入者に配布する一

式に含ませることを想定している。

委員) 指定管理料は、営業時間の延長を考慮した数字なのか。

団体) 時間延長を考慮した数字になっている。500万円程度の指定管理料の押し下げにつながっている。

委員) 猶予を受けていた2年度分の市税は納付したか。

団体) 期限内に納付した。

委員) 民間企業が南スポーツセンターに参入するメリットは何か。

団体) 指定管理料制度は、民間企業のノウハウを生かし公共施設を活性化させるという趣旨であり、長年培ったノウハウを生かせる事業だと思っている。それと同時に社会貢献性の高い事業であり、スポーツに取り組んでいる人だけではなく、スポーツに馴染みのないような方も対象にするよう想定している。

委員) スタッフに障害者スポーツ資格を持つ人材を配置するのか。それとも、従事する職員には資格をとるよう指導していくのか。

団体) 障害者スポーツ資格取得者を3名配置する。公的資格だけでなく、社内の充実した研修を実施し、職員のスキルアップを図る。

委員) スタッフの人数について、マルチタスクによりマンパワーを減らすことで心理的負担が増すかと思うがどうか。

団体) 視察を踏まえ、多施設でのノウハウを駆使することで問題ない人員配置となっている。

委員) 未利用者へのモニタリングはどうか。

団体) 合築の地区センター、ケアプラザ利用者や代表団体が運営している上大岡の施設の利用者にアンケートを実施予定。

委員) パラスポーツ体験者年間100人の目標を達成する試算はあるか。

団体) 四半期に1回実施予定のインクルーシブスポーツ体験会は1回10名程度、週に1コマ実施予定の体験イベントは5名程度を想定している。

委員) 施設を改善したアピールは、どう実施するのか。

団体) 利用者アンケートの情報開示、タウンニュースへの掲載などで、アピールしていく。

## 5 審査結果

委員5名の平均点合計により、指定管理候補者には得点98.6点の「みなみスポーツ共創パートナーズ」が、次点候補者には得点91.4点の「公益財団法人横浜市スポーツ協会」が決定。

	<p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・選定結果は区長へ報告。議事録は委員長と調整し、作成の上、ホームページに掲載。</li><li>・12月市会に上程し、議案可決後、正式に決定。</li></ul>
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 提案資料</li><li>(2) 評点表</li></ul> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>